

市長記者会見

◆と き：令和8年3月26日(木)

午後2時～

◆ところ：可児市役所4階第1会議室

- 1 可児市出身アーティストが描く「子どもたちが笑顔になる」バス(さつきバス)が街を走る

可児市市政企画部広報情報課

0574-62-1111 内線3323

4月開催予定日時

4月20日(月)午前10時～

可児市出身アーティストが描く「子どもたちが笑顔になる」バスが街を走る

建設部 都市計画課

1 目的

子どもたちにバスに親んでもらえるよう、「可児っ子の笑顔」をテーマに、可児市出身アーティストの「TOMASON」に、市コミュニティバス「さつきバス」のラッピングデザインを作成してもらいました。色とりどりでポップなラッピングバスを通じて、市内の子どもたちをはじめ可児市民や可児市への来訪者に楽しんでもらえる取り組みを展開します。さらに、新デザインのバスを通じて地域の魅力を発信し、バスの利用促進にもつなげます。

2 概要

完成した車両は本日初めてお披露目します。(広報紙令和8年3月号でイラストデータは紹介済み)

また、周知活動として、本日より Instagram の広告を活用します。

3 詳細説明

○可児市出身のアーティスト「TOMASON」が、「可児っ子の笑顔」をテーマに、市コミュニティバスのさつきバスの新たなラッピングデザインを作成しました。

○「TOMASON」の略歴や活動実績は裏面のとおりです。

○PRイベントを、下記のとおり実施します。

【①さつきバス・TOMASON展】

期間 3月27日(金)～4月12日(日)

場所 カニミライブ図書館

内容 さつきバス・TOMASONのPRパネル展

【②ラッピングバスPRイベント】

・3月28日(土) カタクリまつり

・4月4日(土) 可児市さくら祭り

(内容)

・新ラッピング車両の展示

・なりきりバス運転手体験

・名鉄西可児駅と会場間でのプレ運行(3/28のみ)

・新たなラッピングのさつきバス vs 可児っ子による綱引き対決(4/4のみ)

○新たなラッピングバスは、3月末から本運用します(1台限定。現在走行する黄丹色の市松模様のラッピング車両も引き続き運行)。

「TOMASON」とは

【略歴】

- ・岐阜県可児市出身の33歳
- ・地元岐阜県を中心にアートフェスや個展、ワークショップ等を開催
- ・2011年から毎日独自のモンスターを描き続けている
- ・2019年10月から表参道にて自身のギャラリー“MAT”をオープン
- ・2020年に出版レーベル“白い立体”からオリジナルモンスターをまとめた図鑑をリリース

【活動実績（抜粋）】

- ・TOMASON LAND in 養老（養老公園/岐阜）
- ・清流の国芸術祭アート体験プログラム -アートラボぎふ 特別講師
- ・CERAMIC VALLEY CRAFT CAMP 24（インスタレーション / メインビジュアル等）
- ・in 寺 ction - TOMASON LAND ZERO OPEN -（光蓮寺/岐阜）
- ・NHK “シブヤノオト” illiomote スタジオライブ セットデザイン
- ・横浜 DeNA ベイスターズ コラボグッズ “The Greatest MONSTER 9”（デザイン提供）

